

表彰
増刊号!

第146号

発行

八重山農林水産振興センター

農業改良普及課

〒907-0002 沖縄県石垣市真栄里438-1

TEL (0980)82-3497

Fax (0980)82-4142

与那国駐在

TEL (0980)87-2354(代)

普及だより

おきなわ 花と食のフェスティバル2019

1月26日～27日に「おきなわ花と食のフェスティバル」が那覇市で開催され、八重山から多くの方が受賞されました。出品に協力して下さった皆様、ありがとうございました。

野菜品評会



かぼちゃ(こふき)
中わたの成熟度や
外観・揃いの良さが
評価されました!



竹富町 山城 富正氏
かぼちゃ部門 **銅賞**



オクラ(フィンガー5)
冬場に出せること
の貴重さ、大きさ
と形の良さが評価
されました!



石垣市 東 政廣氏
オクラ部門 **銅賞**

花き品評会



葉物
(ドラセナ ニュードリーミー)
ボリューム感と葉色の鮮明さが
評価されました!



石垣市 野原 正次氏
ゆかり氏
葉物部門 **金賞**

葉物
(ドラセナ コンパクト(赤))→
色乗りと揃いの良さが評価されま
した!



石垣市 野原 正次氏
ゆかり氏
葉物部門 **銅賞**

(担当:小笠美由季)



県農林漁業賞に石垣島果樹生産出荷組合&平良夫妻

平成31年1月に開催された「おきなわ花と食のフェスティバル2019」において「沖縄県農林漁業賞」の表彰がおこなわれ、八重山からは、マンゴー生産者の石垣島果樹生産出荷組合（島田長政さん・金城哲浩さん、川満哲生さん）と、パインアップル生産者の平良邦夫さん・たま子さん夫妻（石垣市）が受賞されました！

- ◎マンゴー：国内でも初期に経済栽培に成功し、「ポトリ果マンゴー」の開発や八重山マンゴー研究会の設立、地域マンゴー生産に対する牽引力などが評価されました。
- ◎パインアップル：生食用パインの生産にいち早く取り組んだ農家の一人であり、品質の追求のみならず、グリーンベルトによる赤土流出防止や地域農家への技術指導、沖農P17（商標：サンドルチェ）の販売促進PR活動への貢献などが評価されました。

「沖縄県農林漁業賞」表彰式
「沖縄、ふるさと百選」認定証交付式



農業普及活動高度化全国研究大会で当課がW受賞！

平成30年11月に東京大学安田講堂にて開催された「第6回農業普及活動高度化全国研究大会」において、当八重山農林水産振興センター農業改良普及課が発表した「八重山マンゴー研究会の活動支援による産地育成～個から組織、そして地域へ～」が、全国農業改良普及協議会会長賞と特別賞をW受賞しました（発表者：貴島）。

個人農家の集団組織である「八重山マンゴー研究会」の設立から現在に至るまでの10年間の活動を主に紹介し、生産者との協働による技術支援や全国の普及指導員に対するプラスの影響が評価されました。



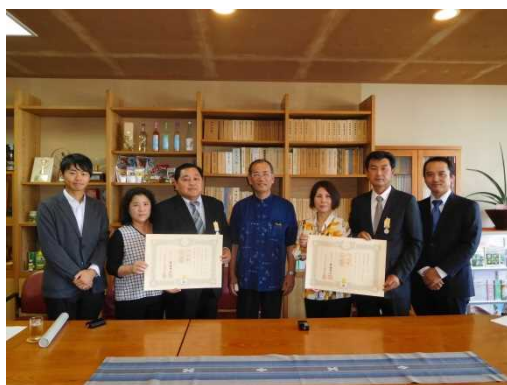
（担当：貴島圭介、下城崇生）

多宇司・明子夫妻、伊盛栄俊・京子夫妻が黄綬褒章を受章

石垣島を代表する畜産農家である「株式会社と～家ファーム司」の多宇夫妻と有限会社伊盛牧場の伊盛夫妻が、この度、平成30年秋の褒章「黄綬褒章」を受章しました。多宇氏は放牧による肉用牛繁殖の低コスト経営と肥育一貫経営の取り組みが、伊盛氏は亜熱帯地域の酪農経営スタイルの確立とジェラート販売による6次産業の取り組みがそれぞれ評価され、受章に至りました。

平成30年11月14日に農林水産省にて褒章の伝達式が行われ、その後皇居において天皇陛下へ拝謁し、お言葉を賜りました。翌日には島尻県農林水産部長を表敬し、受章報告を行いました。県内でも例を見ない同地域から2名の畜産農家の黄綬褒章の受章ということもあり、祝賀会も盛大に執り行われました。

※褒章とは、社会の各分野における優れた事績、行いを顕彰する制度のことであり、黄綬褒章は、農業、商業、工業等の業務に精励し、他の模範となるような技術や実績を有する方が対象となる。



左上：多宇夫妻

中央：伊盛夫妻

右上：黄綬褒章伝達式
(農林水産省)

左下：島尻農林水産
部長表敬

右下：黄綬褒章祝賀会

(担当：本田祥嵩)

「第46回毎日農業記録賞」にて「優秀賞」を受賞

石垣市嵩田で、ご両親とマンゴーを生産している金城龍太郎さんが、第46回毎日農業記録賞(毎日新聞社主催)に「マンゴーが描く点と線」と題した約三千字の作品を応募し、一般部門で「優秀賞」を受賞しました。この優秀賞は最優秀賞6編に次ぐ賞で、今年は全国応募1,365編の中から10編が選出、12月3日には東京千代田区で授賞式が執り行われ、金城さんも招待されました。

※毎日農業記録賞とは…「農」「食」「農に関わる環境」への関心を高めるとともに、それに携わる人たち、これから携わろうとする人たちを応援することを目的に、1973年に毎日新聞社が創設した賞。

「マンゴーが描く点と線」を読みたい方は、下記URLまたは「毎日農業記録賞」で検索

<https://www.mainichi.co.jp/event/aw/mainou/prizewinner2018004.html#a010>



(担当：嘉数耕哉)

沖縄県青年農業者会議

大浜さん 最優秀賞、鈴木さん 奨励賞



11月6日に那覇市で開催された平成30年度沖縄県青年農業者会議（主催：沖縄県農林水産部、沖縄県農業青年クラブ連絡協議会）のプロジェクト発表の部において、西表島農業青年クラブの大浜一将さんが最優秀賞に選ばれ、来年7月に佐賀県で開催される九州・沖縄地区青年農業者会議への出場が決まりました。

意見発表の部においては、黒島農業青年クラブの鈴木梯子さんが「No cattle, No life ～ゼロから描く牛飼いの夢～」と題して発表し、奨励賞に選ばれました。

大浜さんは、「ぼくの強みは商売っ気～my（米）アイディアで商売繁盛！～」と題して発表しました。離島のハンディ克服のため、環境に優しい循環型農業で米を栽培し、商品に付加価値を付けて独自ルートで販売、コスト削減にもつなげていることが評価されました。

乾草部門(全19点)

最優秀賞 船道 政伯
 優秀賞 比屋定 修
 優良賞 又吉 英伸

サイレージ部門(全5点)

優良賞 金城 義孝
 又吉 智生

参考出品(竹富町外)成績上位者

黒島農業青年クラブ賞
 石垣 芽衣(石垣市)
 カデカル牧場(石垣市)



左から船道政伯氏（島仲大輔氏代理）、又吉英伸氏、金城義孝氏、又吉智生氏、比屋定修氏（仲高秀文氏代理）

第4回

黒島牧草コンテスト

1月15日、黒島島内外の畜産農家、関係機関総勢51名が出席する中、黒島農業青年クラブ主催の牧草コンテストが黒島で開催されました。県営農支援課の知念雅昭専門員より「乾草の水分調整技術は全体的な向上が見られるが、サイレージについては水分率が40%以下であるためpHが低下していない。全体的に刈り遅れている」との審査講評の後、表彰が行われました。

講習会では「暖地型牧草地へのイタリアンライグラス追播時の転圧（鎮圧）効果について」と題し、琉球大学農学部の波平知之氏から講演がありました。

(担当:寺島真理子)

今年から収入保険制度が始まりました

～これを機会に青色申告を始めてみませんか～

最大の補償を選択すれば、万一の場合に8割以上の収入が確保される「収入保険」が始まりました。自然災害、鳥獣害や市場価格の低下だけでなく、本人や従業員のけがや病気で収穫が出来ない、収穫後の事故など、様々なリスクにさらされている農業経営。こうしたリスクに対しては、ご自身で備えをしておくことが大切です。

収入保険は「青色申告を5年間継続している農業者」が対象となりますが、加入申請時に青色申告の実績（簡易な方式でも可）が1年分あれば加入可能です。これから平成31年分の青色申告を始めたい方は、まずは平成31年3月31日までに税務署に「青色申告承認申請書」を提出する必要があります。

青色申告には他にもメリットがたくさんあります！

① 青色申告特別控除を受けられる

「正規の簿記」で65万円、「簡易な方式」なら10万円を所得から特別控除

② 損失額の繰越しと繰り戻しが出来る

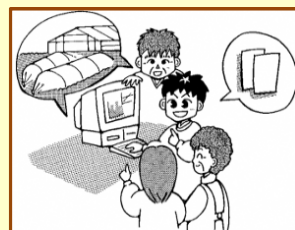
損失額を3年(法人は9年)にわたって繰り越し、所得から控除可能
また、繰り戻し前年の所得税から還付を受けることも可能

③ 専従者の給与額を必要経費に算入出来る

※税務署に「青色事業専従者給与に関する届出書」の事前提出が必要

④ 減価償却費の特例がある

30万円未満の少額減価償却資産は全額を経費に算入出来る（上限300万円まで）



お問い合わせは
八重山農業改良
普及課まで

(担当:大前加陽子)

与那国町情報

～表彰～

第42回沖縄県さとうきび競作会にて宮良正一氏（八重山地区代表）が 沖縄県糖業振興協会理事長賞（特別優良事例の部）を受賞！



上段右から3人目が宮良氏

第42回沖縄県さとうきび競作会表彰式が2018年4月19日、那覇市の沖縄県産業支援センターで行われ、特別優良事例の部では、宮良正一氏（与那国町、八重山地区代表）が沖縄県糖業振興協会理事長賞を受賞しました。

長年に渡って、与那国町のさとうきび生産のリーダーとしての役割を担い、高い栽培技術や受託作業の担い手として地域に貢献し、糖業振興に尽力してきた功績が認められました。

受賞、誠にありがとうございました！

5月26日には、与那国町「さとうきびの日」関連行事が与那国町農業構造改善センターにて行われ、宮良氏をはじめとした、H29/30年期中で優秀な成績を収めた生産者が表彰されました。

また、講習会や現地検討会、メーカーによる展示会も行われ、活気に満ちた行事となりました。



表彰式の様子（与那国町「さとうきびの日」関連行事）



金城保氏（琉球肥料）による講習会

(担当:玉城優太)

水稻 畦の草刈りでカメムシ対策

登熟期までにカメムシ類に吸汁されたコメには褐色の斑点ができ、コメの等級低下の原因となります。

水田周辺の雑草は、イネを吸汁するカメムシ類(写真)の繁殖場所となります。水田で農薬散布や一斉防除を行っても、繁殖場所があると防除効果が落ちやすくなります。出穂前には、改めて畦など水田周辺の雑草を刈り、カメムシ類の飛来・吸汁被害を減らしましょう。



ミナミアオカメムシ

クモヘリカメムシ

出典:『沖縄県水稻栽培指針(八重山地域版)』

西表島から献穀

昨年11月に開催された「平成30年度新嘗祭(にいなめさい)」(※1)において、沖縄県から西表島の大浜和重氏の白米「ミルキーサマー」が献穀(※2)されました。八重山地区からは2年に1回献穀を行っていますが、西表島からの献穀は過去15年間で初めてです。また、ミルキーサマーが献穀されたことも初めてでした。

大浜氏が長年継続している環境に配慮した栽培方法や、エコファーマーとしての取組みが評価され、今回献穀者に選ばれました。次回の八重山からの献穀は2020年です。

※1 新嘗祭:宮中祭祀の一つ。天皇陛下が新穀を神に供え、自らもこれを食する祭事。

※2 献穀:天皇陛下に穀物を献上すること。

写真:笑顔で献穀の報告を行う大浜氏



(担当:小笠美由季)

HACCPに沿った衛生管理の制度化について

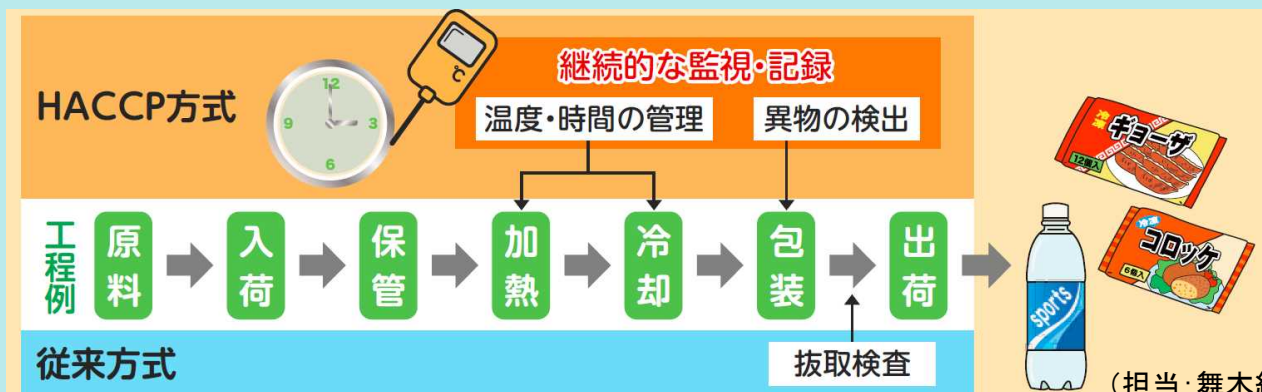
食品衛生法等の一部を改正する法律が昨年6月に交付されました。

改正の中身として、HACCPに沿った衛生管理の制度化があり、原則として全ての食品等事業者が対象となります。

なお、本法律の施行は2020年4月となる見通しです(1年間の経過措置期間が設けられる予定)。

HACCP方式と従来方式の違い

製品完成後の抜取検査ではなく、製造工程のうち健康被害を防止する上で特に厳重に管理しなければならない工程の監視・記録の確認、または提出が求められます。より効果的に安全性に問題のある製品の出荷を防止できるとされています。



(担当:舞木紀玲)